

Mランドニュース Vol. 102

丹波ささ山校 平成27年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

子供は親の言うとおりに
育ちません。
親のするとおりに育つのです。

まこと幼稚園園長 山村 達夫氏
ジャパニスト No.26 より

日本遺産のデカンショ祭

ここ丹波篠山では、デカンショ祭が近づきますと各町の特色を生かした提灯が市内の道路を彩り、デカンショムードもしぜんと盛り上がってきます。今年の四月二十四日には、「民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶」という伝統を語るストーリー性が評価され、文化庁より「丹波篠山デカンショ節」が全国十八の「日本遺産」の一つとして認定されたこともあり、期待も更に高まります。

このデカンショ祭りに、「Mランド連」として今年もゲストと共に八回目の参加をしたのですが、当然ゲストの顔ぶれは毎年ちがいます。日本有数の盆踊りに行くのに、踊りを知らないとおっては楽しむことはできません。そこで今年も祭前夜の八月十四日、「篠山デカンショ節保存会」の梶谷郁雄様に「踊り講習会」をお願いしました。講習が終わったロビーには約三十名のゲストが集まり、人情味あふれる梶谷様のご指導に、しだいにゲストは引き込まれていきました。ようやく

くかたちになつてきたゲストに梶谷様は、デカンショ祭の始まりや歴史をお話しくださり、なんと昔のデカンショ踊りまで見せてくださいました。しなやかに踊りが始まった途端、ゲストは「えー！」と声をあげました。それはやっと思えなかった現代の踊りからは想像できない踊りだったのです。あまりの違いに私たちは、ただ見ているしかありませんでした。



今年も楽しい梶谷先生の指導

これまでMランドでは、梶谷様に七回の「踊り講習会」をお世話になりましたが、この踊りを見せていただくのは初めてでした。単に踊りを教えるだけでなく、「篠山」の伝統を伝えていただくお気持ちに感謝のほかありませんでした。その後、デカンショ節に合わせての総仕上げ。ゲストはとても楽しく踊っていました。

若いパワー爆発！

八月七日、毎日運転と座学に励むゲストの皆さんに、ドッジボール大会を企画しました。教習が終わった夜のコースに特設コートを作り、ゲストが次々と集まってきました。「走る・跳ぶ」は大の苦手なインストラクターも、「ゴムボールを投げるぐらいなら！」となぜか仮装しての参加です。

男女無作為四チームの勝ち上がり戦ですが、中には女子ばかりになってしまったチームもありました。ルール説明が終わり、いよいよ試合開始です。

初戦は、口だけ元気の良いインストラクターチーム対女の子だけのチームです。優勢と思われたインストラクターチームですが、いざ始めるとそうはいきません。飛んできたボールを受けそこなったり、ボールをかわそうとするのですが、体がついていけないのです。若々しい女子チーム相手にあっけなく負けたインストラクターチームでした。

また、別の試合では、さすがMランド人です。思いやり



陳秀梅様(左)と張晶晶様(右)

「日本遺産」認定の効果もあるのでしょうか、例年に比べ人が多く、外国の方も踊られていたのが印象的で、Mランド連も神戸市からご入所された中国国籍の、陳秀梅様と張晶晶様も楽しそうに踊られ、他の皆さんも踊りや打ち上げ花火を楽しまれたのは、いうまでもありません。



浴衣でピース！

翌日、浴衣に着替えた女性ゲストの華やかさは、教習時から想像もつきません。また、姿勢や歩き方も普段と違ってきましたので、浴衣の力はさすがです。そんなゲストたちと日本最大級の木造やぐらが待ち受ける会場へ。



イエーイ、やったぜ！

勝ちぬいたチームには真っ赤なMランドTシャツが贈られ、翌日の教習時に誇らしく着ておられました。



熱き戦いの後、記念に一枚

を持って手加減し投げた男子のボールを、女子が凄まじい勢いで投げ返すと「おお！」と、どよめきがおこりました。「あの女の子は大学のハンドボール部ですよ」。こうなる男子も本気モードになり、白熱した試合になりました。どのゲストも運動能力に違いはありますが、教習を忘れ若い力を出し切った表情は、とても清々しくみえました。

ようこそ

毎月第二日曜日は、発足五年目を迎える「篠山掃除に学ぶ会」の実施日です。八月九日も市立八上小学校のトイレをお借りして、便器を磨かせていただきました。

この日は兵庫県姫路市より、「姫路掃除に学ぶ会」の福永道子様、清瀬文雄様、磯田實様の三名がご参加されました。私どもとご縁をいただいたのは約七年前でした。

Mランドで毎朝、「トイレ掃除」をゲストとともに取り組んでいたものの、私たちのトイレ磨きは、Mランド益田校で研修した一回だけのもので、他の取り組みを学びたいの思いがありました。そこで当時の職員が、島根県益田市の「益田掃除に学ぶ会」の会員様より、「姫路掃除に学ぶ会」をご紹介いただき、第一日曜日に開催される掃除の会に、参加させていただくようになったのが始まりでした。平成十二年に発足し、この十五年間に百二十三回の活動をされておられます。

掃除の会での始まり、掃除実習、終わりの会などの進め方は私にとって多くの学びとなり、Mランドのボランティアも大きな影響を受けています。また、代表世話人をされている福永様は、小学校教師時代より約二十一年間、森信三先生のご指導を受けておられ、現在は森先生の教えに学び実践されている「実践人の家」の副理事長もされておられます。このように、日々前向きに生活されている姫路の会員様たちの人間力からは、「トイレ掃除」だけではない大きな刺激をいただいているのです。



前列左から磯田様、清瀬様、福永様

朝六時にお越しになった皆さんにMランドをご案内すると、「とても緑の多い、いいコースですね」とおこぼれ

いただきました。姫路と篠山の人がおなじトイレで、掃除をしているご縁の有難さを感じつつ、便器を磨かせていただきました。

「一度、篠山に伺いたい」とのお申し出をいただき、参加者の中で一番嬉しさを感じたのは私のほうだったのかも知れません。

三宝庵

毎週火曜日は、Mランドのお茶室「三宝庵」で、ゲストの皆さまに抹茶を振る舞っています。

教習所になぜ「お茶席」？「茶道」には、もてなす側ともてなされる側の相手を思いやる作法があり、ドライバーに大切な「心」と無縁ではありません。ゲストにとって「お茶席」というと、作法が難しいものと思われそうですが、そんなゲストに満仲弘恵先生はとても身近なこととして、「お茶席」を伝えてくださっています。

大きな「力」を持つ自動車に、「心」が乗っていないと走る凶器になってしまいます。運転操作やルールだけでなく、



満仲先生の話に聞き入るゲストたち

く、「お茶席」から相手を思いやる「心」を感じていただきたいのです。暑い夏にありながら、「こころ」三宝庵には、さわやかな空気を感じます。Mランドにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

9/13(日) 八上小学校 西トイレ
(Am7:00~8:00)

9/20(日) 篠山中学校 運動場トイレ
(Am7:00~8:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

トイレそじを教えてください方々へ

朝早いのに、丁寧にトイレそじを教えてくださいまして、ありがとうございました。最初の説明のときの、「日本は水に恵まれている」というのを聞いて、水を必要最小限度にそじをしていることが分かり、水の大切さ、ありがたさを感じました。これからは、「トイレそじは毎日自分の知らないところで誰かがこんなに大変な思いをしてそじをしてくれているんだ」と感謝してきれいに使わなければと思いました！

後藤 茜 様

トイレそじを教えてくださいMランドへ

いつもトイレ掃除は、棒付きのタワシでやっていたけれど、素手で磨いたり便器の中の水を再利用するのは、初めて知りました。自分でやってみていつも親にしてもらっているという、ありがたみを知ることができました。これからは家でもすすんで掃除をしようと思うし、水を大切にしようと思いました。

吉田 幸加 様

今月のありがとうカード

編集後記

猛暑といわれていたこの夏も、お盆を境に季節が変わったようで、朝夕の清々しさと日中のすこしやすきは、暑がりの私にとってありがたいものです。先日、歩道の草引きに夢中になっていたところ、クラブ活動でしようか、登校中の女子高生が元気よく「おはようございます！」と、自転車で私のうしろを通り過ぎていきました。追いかけるような声で「おはようございます！」と私もあいさつ。「あいさつは人より先に」でなければと思っていただけ……。「やられてしまった」と反省しつつも、あいさつをしなくてもしていただけた嬉しさに顔もほころび、草引きを続ける私は、気持ちにも清々しさを感じた朝でした。(徹)

